



第36回 雪椿マラソン スタート (4月18日)

雪椿まつり市中パレード出発前に125名がスタートし、全員が完走。

主な内容

- 第49回 雪椿まつり開催…………… 27
- 栗ヶ岳山開き…………… 8
- 雪椿杯バレーボール・雪椿マラソン… 9
- 加茂の風土記…………… 10

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院をもり立てましょう
 「美人の湯」も加茂市の宝 美人の湯をよろしく願いたします

第49回 雪椿まつり



左からミス雪椿・車谷 唯さん、ミス雪椿クイーン・樋浦ころろさん、ミス雪椿・大塚英恵さん

第49回雪椿まつりが開催されました。前日までの天気予報から、大園遊会は市民体育館で準備がすすめられ、ミス雪椿公開審査、歌謡ショー、大島町交歓会をおおぜいの皆さんから楽しんでいただきました。

大園遊会

大園遊会は、今年、十八日土曜日に開催されました。雲も少なく青空が広がりましたが、午前中は風が強く吹く一日となりました。

ミス雪椿公開審査で始まった大園遊会は、秋扇会の踊りで十名の候補者がステージに登場し、会場内の皆さんから投票していただきました。その結果、ミス雪椿クイーンに樋浦ころろさん、ミス雪椿に車谷唯さん、大塚英恵さんが選ばれました。ミス雪椿の三人には一年間、加茂の観光PRやイベント・セレモニーで活躍していただきます。

この公開審査の前に、昨年からの一年間活躍していただいたミス雪椿の仁瓶めいさん、中野美紀さ



ミス雪椿公開審査には約1500人の皆さんが投票

ん、入山美希さんへ子どもたちから花束と会場から大きな拍手が贈られました。

つづいてのアトラクションには、加茂松坂協会の「ひでこ節」、星の会の「ねぶた恋歌」、ザ・松坂の「加茂松坂」、秋扇会の「河内一代男」が披露されました。

そして、秋吉真実さんを迎えるの歌謡ショーが始まりました。声援にこたえて歌う秋吉真実さんに客



藤岡 学JR東日本新潟支社
営業部販売課長(支社長代理)



田村定文産業労働観光部
観光局長(新潟県知事代理)



菊田真紀子衆議院議員

新しいミス雪椿を中心に、JR加茂駅前からパレードがスタートしました。新発田駐屯地・第三十普通科連隊のオープンカーから、

市中パレード

頃またきてね」の二曲の踊り、勇壮で迫力ある御神火太鼓が披露されました。

小池市長は「大島町の復興は加茂市民の願いでもあります。大島町との交流が、さらに深く、そして広がることを願っています。」とあいさつし、加茂市から桐三段タンスが、大島町からツバキの花焼・大皿の記念品がそれぞれ贈られました。続いて、ミス大島の白井里枝さんを紹介し、大島町婦人会による「大島おけさ」「椿咲く

席から大きな拍手が広がり、楽しいステージとなりました。
友好都市大島町との交歓会では、石川龍治大島町教育長と小池市長が固い握手を交わしました。
石川教育長は「一昨年の台風被害では、加茂市民の皆様からいただいた支援を忘れることができません。今は本格的な復興の途中で、全島あげてがんばっています。」とあいさつされました。



大島町婦人会による踊り



小池清彦市長と石川龍治大島町教育長



勇壮な演奏を披露する御神火太鼓の皆さん



ミス大島の白井里枝さん

ゲスト歌手・秋吉真実さんの
歌謡ショー



ミス雪椿クイーンの樋浦こころさんとミス大島の白井里枝さん、ミス雪椿の車谷唯さんと大塚英恵さんが、大通りの両側からのお祝いの声に笑顔で応えていました。パレードは、県警音楽隊とカラーガード、ボーイスカウト、ガールスカウト、交通安全協会、交通安全母の会、ブラス・ワン、大島町の皆さんと御神火太鼓、BFC少年消防クラブ、須田保育園、本量寺保育園の皆さんが参加しました。

雪椿マラソン

市中パレード出発前、午後二時三十分丁JR加茂駅前をスタート。今回から道半交差点から八幡・桜並木を通るコースに変更となりました。3kmと8kmの九部門に百二十五人が出場し、全員が完走しました。

5日 雪椿杯バレーボール大会

県内六市町から十六チームが出場しました。開会式では出場全チームに雪椿の苗木と加茂美人の湯招待券などが贈られました。決勝は、ほないクラブ(三条市)と白根クラブ(新潟市)で行われ、ほないクラブが初めての優勝を決めました。

19日 トレジャーハンティング

野外ステージをメイン会場にして、加茂山公園内の八か所でもちが、カモンレジャーとともに、すばやさ・ひらめき・集中力をテーマにつくられたゲームを楽しみました。



星の会による「ねぶた恋歌」



加茂松坂協会による「ひでこ節」



秋扇会による「河内一代男」



ザ・松坂による「加茂松坂」



県警音楽隊とカラーガード



新しいミス雪椿のお披露目となる市中パレード



ボーイスカウトとガールスカウトが交通安全をPR



交通安全母の会の皆さんも親子でパレード



大島町の皆さんも参加して市民交流を広げました

市民茶会
 青海神社拝殿と貴賓室、杉木立での野点と三席がひらかれました。杉木立は、市内高校生の皆さんによる茶席で、初夏を思わせる日差しの中、お菓子とお茶をおおせいの方から楽しんでいただきました。ミス雪椿クイーンの樋浦ころさんとミス雪椿の車谷唯さん、大塚英恵さんも各茶席を訪れ、おいでいただいたお客様に加茂市のPRをしていただきました。



ブラスワンの演奏



交通安全協会も風船で交通事故防止をPR



ミス雪椿の大塚英恵さん(左)と車谷唯さん(右)



ミス雪椿クイーン・樋浦こころさんと
ミス大島・白井里枝さん



須田保育園園児によるパレード演奏



BFC少年消防クラブ鼓笛隊

第36回雪椿マラソン



出場した125名全員が完走しました



本量寺保育園の園児による防火パレード



大通りのミス雪椿の車列

市民茶会



青海神社拝殿の茶席



青海神社貴賓席での茶席



学校茶道連絡協議会 市内高校生の皆さんによる野点



トレジャーハンティング (13日)



野外ステージでのカモレンジャー・ショー

5日 雪椿杯バレーボール大会



県内から16チームが参加



いろいろなゲームに挑戦する子供たち



ほないクラブ (三条市) が初優勝

栗ヶ岳 山開き 登山シーズンがスタート



稲葉警察署長、北澤山岳会会長、小池市長がテープカット



朝の登山届の受付の様子



登山者に加茂警察署員が安全登山チラシを配布

安全祈願に三百名が参加

栗ヶ岳登山の幕開けとなる山開きが四月二十九日にありました。水源第二ダムの中央登山道入口で安全祈願が行われ、ダム堤で北澤忠男加茂山岳会会長、稲葉浩加茂警察署長、小池清彦加茂市長の三人がテープカットを行い、約三百人が山頂目指して出発しました。

「とあいさつされました。そして小池市長は「山岳会と協力して、藪となっていた宝蔵山を経由する新ヶ沢ルートを整備しました。これからも安心して楽しめる登山道の整備をまいります。」とあいさつしました。」

この日は県外からも参加が多数あり、七合目のヒュッテでは山岳会から登頂証明書が発行されました。

栗ヶ岳登山のシーズンは、これからたくさんの方を迎え、十一月三日の山開きまで続きます。

カメラ スケッチ

加茂川鯉のぼり取り付け（4月10日）

5組10本のワイヤーに約500匹の鯉のぼりが取り付けられ、1か月間皆さんを楽しませながら泳ぎます。



八幡・桜並木 今年は例年より一週間ほど早め、14日前後が満開の見ごろとなりました。

スポーツ少年団合同入団式（4月11日）

12競技で17団体が活動し、北信越、全国へと挑戦するステップとなっています。



第31回雪椿杯争奪

加茂市近郷家庭婦人

バレーボール大会

期日 四月五日

会場 勤労者体育センター

参加 県内十六チーム

優勝 ほないクラブ（三条市）

準優勝 白根クラブ（新潟市）

三位 牡丹山クラブ（新潟市）

秋桜V C（三条市）

〔個人賞〕

最優秀賞 石塚弘子（ほないク）

優秀賞 阿部小百合（白根ク）

技能賞 滝田加代子（ほないク）

敢闘賞 佐藤恵利香（白根ク）

大平一世（牡丹山ク）

重原ゆかり（つかさク）

第36回雪椿マラソン

期日 四月十八日

出場・完走選手 百二十五人

※今回から道半交差点からのコース

と距離が変更されました。

〔3 km コース・駅前〳道半交差点〳

八幡桜並木〳ゴール〕

▼小学三・四年生男子の部①吉田優

也・最優秀選手賞（新潟市東区）②

安達光流（五泉少年マラソンクラブ）

③安達光希（五泉少年マラソンクラ

ブ）▼小学三・四年生女子の部①丸

山凜子・最優秀選手賞（三条陸上Jr

②明間遥菜（五泉少年マラソンクラ

ブ）③木村里桜（五泉少年マラソン

クラブ）▼小学五・六年生男子の部

①落合匠（五泉少年マラソンクラブ）

②棚山聖翔（下条ファイターズ・下

条小）③高橋慶（加茂Jr陸上・石川

小）▼小学五・六年生女子の部①佐

藤優奈（五泉少年マラソンクラブ）

②小野沢紀伽（スポ少ドッジ・羽生

田小）③大野聖音（スポ少ドッジ・

加茂西小）▼中学生男子の部①飯岡

永悠（若宮中）②酒井俊輔（須田中）

③小柳洸平（加茂Jr陸上・七谷中）

▼中学生女子の部①石平歩那（加茂

中）②吉田美奈（新潟市東区）③笠

原美琴（若宮中）▼一般高校女子の

部①藤田由美（見附市）②小嶋のど

（FRC）③波塚美奈子（GTR）

▼壮年男子（40歳以上）の部①小柳

健一（新潟中央短大）②椿正幸（五

泉楽走会）③土田禎成（笹神中教

）〔8 km コース・駅前〳道半交差点〳

八幡桜並木〳猿毛集会場脇〳ゴー

ル〕

▼一般高校男子の部①酒井貴音（加

茂農林高）②高村純太（長岡ACC）

③梶山悟史（加茂農林高）

長堀検校の旅日記から加茂を見る

「安政三年越後道の記」から

江戸時代の後期、安政三年（一八五六）、江戸から出身地の新発田まで駕籠に乗って通行した人がいた。江戸に出て行き鍼灸を学び盲人の役職の最高位である検校に昇り詰めた長堀検校（一八〇八～九一）である。その検校が郷里の縁者の法要に下向した時の旅日記が残っているので、日記から加茂の出来事を紹介する。

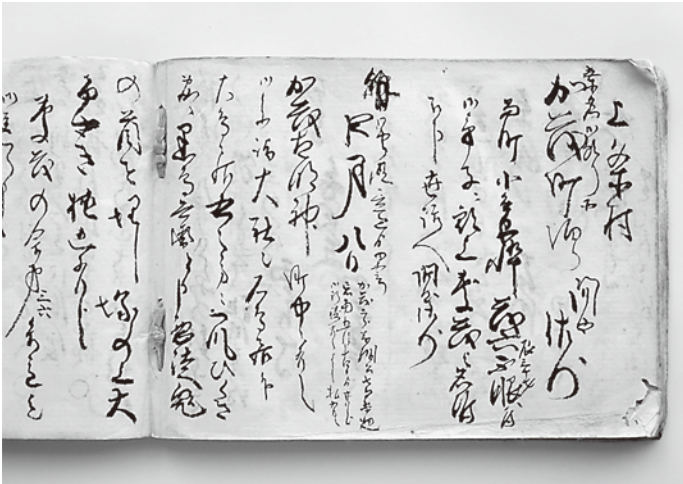
長堀検校一行は江戸をこの年三月四日に発って、中仙道を経由し海岸通りで新潟町に入り、新発田町に十九日到着した。新発田での法要を済ませ、帰途、羽生田・定

福寺の延命地藏尊に詣でた後、上条村から加茂町に四月七日に到着した。加茂では本町にあった問屋の涌井佐右衛門宅に宿泊して

宿で話題にのぼったのか、加茂では加茂次郎源義綱の七百五十年祭が間もなく五月十四日から二十日まで行われることを連れの者に

加茂の風土記

「越後道の記」の加茂町の部分



書かせている。検校自身は期日前なので、年祭のことを書き留めさせたのだが、これは西光寺で行われた七百五十年祭のことで、青海神社の「御用留帳」には同年五月「八幡御寺」（西光寺）で行われたことが記載されている。これとは別に検校が滞在した七日・八日には、小貫の安国庵で加茂次郎源義綱公七百五十年祭が地区民あげて執り行われていた（義綱公神社所蔵文書）。

翌八日、検校は宿から直ぐの賀茂大明神（青海神社）に参詣した。石鳥居の近く黒鳥兵衛という悪党の首を埋めた塚に、大ケヤキが植えられていることを書き留めている。これは現在の勅使手植の櫻跡を言っているものとみられる。

源義綱公九百年祭は近年、平成十七年に行われたが、紹介した旅日記によって、安政三年に七百五十年祭が行われたことがわかる。検校は加茂町に限らず、各地の盲人を鍼灸などに世話し自分の弟子にすることも忘れなかった。加茂町では小兵次倅茂六（三十歳）に慶茂という名を付け弟子にしていた。

（関 正平）

あーいせとっ

社会福祉費寄付金

▼故・桑原與四郎様ご遺族から 十万円

▼石田杉雄さん（故・石田友夫様ご遺族）から 十万円

加茂市へ

▼ろうきん加茂支店地域育成会から 薬物乱用防止啓発用DVD 「さらば哀しみのドラッグ」七枚

市内小中学校へ

▼株式会社第四銀行・株式会社アサノフォームテックから デジタルビデオカメラ一式、体育館用遮光カーテン

人口のうごき

4月1日現在
 世帯 10,288 (- 8)
 人口 29,000 (-147)
 男 14,027 (- 77)
 女 14,973 (- 70)
 () 内は前月比
 (3月異動分)
 出生 11 (男 7 女 4)
 死亡 38 (男21 女17)
 転出 191 転入 71